



さくら

令和8年5月28日

川崎市立生田小学校 多摩区生田7-22-1

<https://kawasaki-edu.jp/2/413ikuta/>
 (学校ホームページをぜひご覧ください)

「全力 協力 あきらめず 笑顔で団結 チーム生田」

校長 江良 真一

校庭の木々の緑も深まり、あじさいが雨に映える季節となりました。去る5月23日(土)、令和8年度運動会を開催いたしました。前日までの雨による気温低下のため、暑さ対策から寒さ対策への切り替えとなりましたが、上着の着用など保護者の皆様の臨機応変なご協力のおかげで、無事に進めることができました。心より感謝申し上げます。

当日は、「全力 協力 あきらめず 笑顔で団結 チーム生田」のスローガンのもと、全校児童が練習の成果を遺憾なく発揮した素晴らしい一日となりました。GW明けからの短い準備期間でしたが、子どもたちは高い集中力で集合や隊形を覚え、心を一つに本番を迎えました。

この行事を通じ、各学年で確かな「資質・能力(自分で考え、仲間と協力してやり遂げる力)の成長」が見られました。

- ・低学年(1・2年):「とどけHappiness!」では、力を合わせてリズムに乗り、徒競走では最後まで一生懸命に走り抜く姿に胸が熱くなりました。
- ・中学年(3・4年):3・4年生としてのたくましさをもと、「E-JUNC DANCE!」を全身でハツラツと踊り、弾けるパワーを見せてくれました。
- ・高学年(5・6年):伝統の「生小ソーラン」では、息の合った動きと力強い構えで観客を圧倒しました。また、係活動で進行、運営や低学年の誘導など、学校全体を主体的に動かす姿はさすが高学年でした。

この一体感は、練習時から高学年が低学年を手助けし、互いに応援し合ってきた「他者と協働する力」の積み重ねがあったからこそです。学校行事を通じて子どもたちが自立し、大きく成長していく姿を見られたことは、大きな喜びです。

早朝からご来校いただいたご来賓・保護者の皆様、見守ってくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。開始前より後片付けまでご尽力いただいたPTA役員、PTAサポーターの皆様、練習期間中から当日まで放送等にご理解をいただいた近隣の皆様にも深く感謝申し上げます。

運動会で育んだ「自分で考え、仲間と協力し、あきらめずにやり遂げる力」は、今月からの日々の授業や探究学習(総合的な学習の時間)の中で、さらに深く生かされていきます。今後も「チーム生田」の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<児童支援部から>

運動会当日は、温かい応援をありがとうございました。また、練習中はご家庭から様々なバックアップをいただき、感謝申し上げます。

さて、子どもたちの学習支援に回る中で気になっていることがあります。それは、筆箱の中身が揃っておらず、困っている児童が増えていることです。具体的には、消しゴムがない、鉛筆の本数が足りない、鉛筆の先が削られていない、赤鉛筆や油性ペンが無いなどです。

自立に向けて、本人が責任をもって用意できると良いと思っておりますが、準備の仕方を今一度一緒に確認していただき、日常での声かけや確認などのご協力をいただければと助かります。お忙しい中恐れ入りますが、よろしくお願いいたします。

